

富士山須走口

4月29日、3年ぶりに富士山須走口五合目に行ってきました。
このblogを書き始めて以来、初めて須走を訪問した事ことになります。

例年ゴールデンウィークには必ずといって良いほど富士山五合目を訪れていますが、今年は定番観望地の富士宮口五合目が**土砂崩れの影響**で開通が遅れているため、久し振りに須走口五合目に行く事にしました。

独りで行くのも寂しいので、丹星の仲間に声を掛けたら総勢8名の方が集まってくれました。**満月3日前**だというのにわざわざ富士山まで行く事もないのだけど、まあ**例年のお約束のようなもの**ですから。

GW2日目でもあり、道中渋滞にも遭遇しながらも裏道を駆使して17時に現地到着。
須走五合目に至るふじあざみラインは麓からの所要時間は15分程度だが**勾配がかなりキツク**、特に中間付近の馬返しから先は**AT車でもほとんどがローか2ndしか入らない**くらい急坂が続く。



須走登山口付近から見上げる富士山の雄姿。ちょうど富士山の向こうに太陽が沈んだ直後の画像です。

ふじあざみラインは五合目直前まで樹海で富士山の視界が遮られており、最後のカーブを曲がったところでいきなりこの雄大な姿が現れるのです。**初めて訪れる方にはちょっとした感動モノですよ。**もちろん明るい内の到着がお薦めです。

Photo by クマ



最上段の第三駐車場から見る眺め。
正面奥に見えるのが**丹沢山塊**で左に見えるのが**山中湖**。終日好天で気温も上昇したため景色が霞んで見えます。

Photo by クマ



Photo by クマ

日没少し前、下界の御殿場市方向に雄大な影富士が映し出されました。

影富士山頂の右には金時山～神山など箱根の山々が並んで見えます。

撮影後、鏡を冷やすために早めにミューロンを設置していると、近くの方が話し掛けてこられた。どうやら山屋さんのようで、明日早朝から富士山に登るとのこと。この雪で大丈夫ですか?と聞くと、行けるところまで行って適当に引き返してくるのだとか。

今夜はここで夜明かしすると言うので、月と惑星くらいしか見えませんが良ければ観て下さい、とお誘いすると、是非見てみたいとの事で、結局 23 時頃までお付き合いいただいた。

日没後は一気に冷え込みが厳しくなり、急いで防寒装備を整る。鏡も十分に冷えた頃合を見計らって手始めに筒先を月に向けてみた。うーん、シーイングがイマイチよくない。5~6/10 程度か。富士山の風下に位置する須走は富士宮口と比較するとどうしてもシーイングが劣る事が多く、実はこれが須走に来る頻度が下がった最大の要因なんです。

Panoptic35 mmとの組み合わせで月の全景を視野に入れ、山屋さん(お名前を聞き忘れしました)に見てもらおうと結構ウケが良い。これで何倍くらいですか? これもお約束で、一般の方に見てもらおうと必ず聞かれる質問のひとつ。90 倍くらいですよ、と言うと大抵の方が吃驚されます。1000 倍とかその辺を想像しているみたいですね。

ちょうど富士山に沈む少し前の金星を見てみる。シーイングは更に酷いが、半月の姿は確認できた。視直径 15" 位かまだまだ小さい。

続いて天頂からやや西に傾いた土星を見ると、これが意外と良像で環も引き締まって見える。XL10.5 mmで 300 倍弱にしてもそれほど像も破綻することなくしっかりと見えている。



Photo by クマ

山屋さんがミューロンで土星を観望中。

お隣はヒデアキさんと FS128。

像の締まり具合では普段なら確実に FS に軍配が上がるだろうけど、今夜のコンディションではそれほどの差を感じなかったかな。

BinoVue を装填しての双眼視も結構楽しめました。



Photo by ヒデアキさん

月面観望中のクマ。

それにしても快晴の富士山に浮かぶ月はいつも以上に眩しく、周辺もまるで昼間の光景と勘違いするほど明るい。

双眼で見てもかなり眩しく暗視野順応も一発で吹っ飛ぶが、開き直ってターミネーター付近を片っ端から見てみた。

・アリストアルコス付近

ちょうど夜明けを迎えるところで、コブラヘッド(蛇行谷)が明瞭に見える。菱形状のアリストアルコス台地に至ってはやや茶色がかかった色すら感じるほどで、明らかに周りとは異なる色合いに見えた。

・マリウス付近

マリウス付近は月面一のドーム集中地帯で、小型のドームが 100 個以上集まりマリウスの西側にブツブツ点在して見える。嵐の大洋の中でも見所のひとつ。

・シッカルト～シラー付近

シッカルトがちょうど夜明けを迎えるところで、シッカルト内部の小型クレーターの明暗が面白い。シラーも東側外輪山の影が歪に影を落とし興味深い眺めとなっている。



Photo by Fukuda さん

夜半前に fukuda さんが到着し、早速 GOTO の mark-X と 2 本の apo をセット。

このコンディションで Lovejoy 彗星(C/2007 E2)の撮像を敢行するというから凄いわ。

実はクマもこと座が昇ってきた頃から探してはいたのだが、それらしき物すら見つけることが出来ず、速攻で断念したのでした。

D70 の直焦で何かカットか撮影され、驚いた事に彗星特有のやや碧がかかった姿が液晶に映っていたのには吃驚。

画像処理が済んだら写真を是非送って下さい。執念の成果を掲載させて下さいな。



Photo by Fukuda さん

※4/30 23:45 追記

早速送っていただいた速報画像。

彗星特有の妖しい碧色が特徴的です。

2007 年 4 月 30 日 01h12m15s~01h24m15s

Nikon D70 2 分×6 コマ合成

GOTO EDapo 8cm/F8.25+BORG レデューサ
(×0.85)

撮影地 富士山須走五合目

木星も南中頃に見たものの、全くお話にならず。今年の木星は高度が低くてダメですね。シーイングの安定する夏場に期待しましょうか。

夜半を過ぎた頃から仲間が少しずつ撤収を開始し、最後には私とヒデアキさんの二人だけになってしまった。本当はヒデアキさんも早く帰宅したかったのだろうけど、ワインを呑んで酔い覚ましの必要なクマのために朝までお付き合いしてくれました。

クマは実は結構怖がり屋で、富士山で独りで星観なんて真似はとてできない事を、彼は知っているんですよ。優しい方だなあ。

観望疲れもあり、明け方 4 時前には揃って就寝。夜明け頃に一旦目が覚めたけど、車中からご来光を拝んだのみで再び就寝してしまう。☁️



Photo by クマ

7 時半に目が覚めたときにはご覧の青空でした。純白の富士山の眩しい事。富士宮側だと雪融けが早いため山肌がかなり見えるので、ここまで神々しい姿にはならないのです。

純白の富士山と真っ青な空とのマッチングが最高でしたよ。

了